

## 経済学部産業経済学科

学位（教育）プログラム名：経済学（産業経済学科）

経済学（産業経済学科）の学位（教育）プログラムでは、ディプロマ・ポリシー（DP:学位授与方針）に示した資質・能力を総合的に身につけている学生を育成するために、以下のカリキュラムを編成します。

### [教育内容]

学問の基礎となる幅広い視野と知識を身につけるため、全学共通の多様性に富む共通教育科目を設置します。

産業経済学科の入門的な知識と学習方法を身につけるため、必修科目として、「基礎数理入門」、「情報技術入門」を1年次前期に、少人数クラスの「初年次演習」による導入教育を1年次後期に配置します。また、専門教育のための基礎科目として、「ミクロ経済学」および「マクロ経済学」を必修科目として、それぞれ1年次の後期および2年次の前期に配置します。

専門教育科目の編成に関しては、履修の指針として2つのプログラムを設置します。

起業家育成プログラムでは、起業という視点から将来への展望をもち、それに挑戦する積極性と実践的問題解決能力を身につけるため、「ベンチャー起業論」、「産業戦略論」（選択科目A類）、「情報社会と経済」（選択科目B類）などを配置します。

地域イノベーションプログラムでは、地域や企業が抱える問題の発見や定式化、その解決策である政策や戦略の提案能力を身につけるため、「地域イノベーション入門」、「地域イノベーション演習」（選択科目A類）、「プロジェクト研究」（選択科目B類）などを配置します。

意欲をもった学生がグローバル化に対応できる能力を身につけるため、共通教育科目やG.A.P.科目に加え、専門教育科目として、「経済学ジョイントコース」、「海外研究者特別講義」などを配置します。

### [教育方法]

演習科目として、2年次に基礎演習、3年次に演習Ⅰ、演習Ⅱ及び論文、4年次に演習Ⅲを配置し、少人数教育を実施します。担当教員、学生相互で協力しながら、自らが選択した課題に対する分析・考察を行い、論文を執筆することで、課題研究・解決能力を身につけさせます。

講義科目では、専任教員とともにスチューデント・シスタントを配置し、経済学の理論分野の学習支援体制を整え、学生の自主学習をサポートします。

専門教育科目の中に、実社会での経験豊富な社会人による講義科目、フィールド調査、インターンシップなどを組み込み、社会において自己が果たすべき役割を担い、市民として責任ある行動をとる姿勢を身につけさせます。